

済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	PMX・DHP の至適導入タイミングの検討：多施設後ろ向き研究
当院の研究責任者	臨床工学科 三宅 琢也
他の研究機関および各施設の 研究責任者	日立総合病院 救急集中治療科 中村 謙介
本研究の目的	PMX開始前後の最大血管収縮薬投与量とそのPMX開始との時間差を調査・解析し、生命予後との関係を検討する
調査データ該当期間	2015年1月1日～2021年12月31日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者様 ICUに入室した18歳以上の患者 敗血症性ショック(Sepsis3による診断)に対しPMXを使用した患者 PMX導入時血管収縮薬を使用している 同一入院で1回目のPMX施行 ●利用する情報 ①PMX開始24時間前から48時間後までのNEqピークの各種血管収縮薬の投与量およびPMX開始からピークまでの時間差(hour) PMX開始時点と開始後2、4、6時間の血管収縮薬投与量 ②PMX施行時間(hour)、入院中のPMX施行回数 ③患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、感染症診断名、合併疾患 ④ICU入室前後のAPACHEⅡscore、SOFA score ⑤PMX開始日前後の血算、生化学、凝固などの各種採血検査項目 ⑥HD/CHDF 併用の有無、使用した膜の種類
試料/情報の他の研究機関への 提供及び提供方法	多施設共同研究であり、上記の情報を日立総合病院の研究責任者に電子メールで提供します。
個人情報の取り扱い	本研究のすべての担当者は、「ヘルシンキ宣言(2008年10月修正)」および「臨床研究に関する倫理指針(平成20年7月31日改正、以下臨床研究倫理指針)」を遵守して実施する。 研究実施に係る試料等を取扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮する。 研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにする。また、研究の目的以外に、研究で得られた被験者の試料等を使用しない。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関する利益相反はありません
お問い合わせ先	電話番号：077-552-1221（病院代表） 所属・職名：臨床工学科 臨床工学技士 担当者氏名：本村 了祐
備考	